

科目名	小児看護 I (小児看護概論)				DP1、DP2、 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 母子看護	時間数	14時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	次世代を担う存在である小児はたえず成長・発達を続け、健康・不健康を問わず年齢相応の世話が必要である。また、自分で危険から身を守ることができない、不快や苦痛を言葉で表現できないなど成長発達に則した対応が特に求められる。そこで、小児の発達と生理、栄養、小児の養護、小児保健の動向などを学ぶ。						
到達 目標	1. 小児看護の特徴と役割を理解できる。 2. 小児の成長発達を理解できる。 3. 小児の事故防止と安全教育の必要性を理解できる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1~7	小児看護の特徴		小児の特徴、小児看護の役割と特徴、小児看護のあり方、小児看護の課題、愛着形成			講義 演習	外部講師
	小児保健の動向		小児の保健と福祉（子ども・子育てビジョン、健やか親子21、子どもの権利条約、社会的養護と児童養護施設、母子保健施策、学校保健）、小児の衛生統計（小児の死亡率とその原因、低出生体重児の年次推移）、小児保健の今後の方向				
	小児の成長・発達		小児の特徴（頭蓋・胸郭・身体各部の均衡・生歯・骨の発達・体表面積・各臓器の発達）、小児の生理的特徴（消化吸収・排泄・呼吸・脈拍と血圧・血液・体温・睡眠・免疫） 小児期の分類、小児の成長・発達（成長・運動発達・精神発達）の評価				
	小児の栄養		小児の栄養の特徴、食事摂取基準、乳児の栄養食事（母乳栄養・人工栄養・離乳食の与え方・幼児食の与え方・学童期の食事）、				
	小児の養護		衣服の選択、睡眠（寝具・寝衣）、乳幼児の寝かせ方・排泄（トイレトレーニング）・清潔（乳児の沐浴・幼児の入浴・歯みがき・清拭）、居室、外気浴・日光浴、遊び（遊ばせ方・玩具の選び方・テレビやビデオ）・抱く				
	小児の疾病予防・予防接種		予防接種・小児の精神保健				
	小児の事故防止と安全教育		小児の事故の特徴と原因、小児の不慮の事故、乳幼児突然死症候群、反社会的・逸脱行動				
	試験						
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 14 母子看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							